

# 認知症の人の居場所とは？

～デイサービスにおける社会参加活動等の取組～

---

(福) 京都福祉サービス協会

高齢者福祉施設 西院

所長 河本歩美

作業療法士 田端重樹

2019. 10. 31

## 事業所のこと

# (福) 京都福祉サービス協会 「高齢者福祉施設 西院」

- ・ デイサービスセンター（定員：35名／日）
- ・ 小規模多機能型居宅介護（定員：登録25名）  
（地域密着型サービスセンター welcomeやまの家）
- ・ 居宅介護支援事業所
- ・ 地域包括支援センター



# デイサービス センター



## 小規模多機能型 居宅介護



現在地

小規模多機能

デイサービス

私たちが目指すゴール

# 認知症フレンドリー社会

認知症であってもそうでなくても、  
誰もが安心して地域で暮らし続けることができるまち

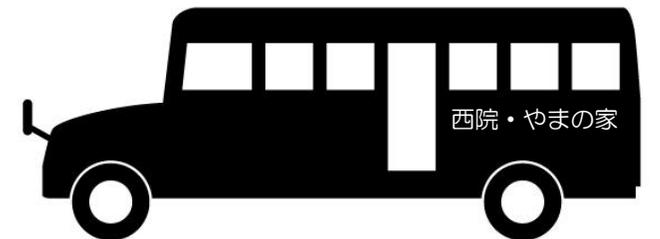
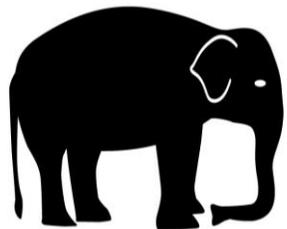


## 施設の基本姿勢

何でも 誰でも  
w e l c o m e



多世代であったり  
障害の有無にかかわらず  
多様な人を受け入れる



施設のテーマ

# 『居場所』

安心していただける場所

あるがままを認められる場所

落ち着くべき場所

役割がある場所

自分の持っている能力を

一番発揮できる場所

こういった場をつくることが私たちの目指すところですよ

# 共生型常設型の 居場所に 求められる姿

## 自分の存在を認識できる

自分が認められることがいきがいにつながり  
自己肯定感を持つ

※ありのままの自分が受け入れられ、  
自分らしく過ごせることが安心感につながる

## 経験や能力を

## 4 生かすことができる

自分の役割を見出すことで、  
いきがいが生まれる

## 時間を自由に

## 3 過ごすことができる

プログラムがあっても  
なくてもよい。  
参加する人の  
自由を尊重する

## 誰もが利用できる

## 2

多世代で、  
様々な立場の人を  
幅広く受け入れる

## 1

## いつでも立ち寄れて、 いつでも帰ることができる

参加者の気持ちに寄り添い、  
その気持ちを尊重する

人と人とのつながりが生まれ、助け合う関係に発展する

(お互い様の気持ちで、互いの困りごとを自分ごとと感じ、助け合いが始まります)

### 3. 事業パターン・モデル案の検討

#### 2. 当該取組の現在における取組状況の類型(居場所の機能強度×役割等の機能強度)

自治体等による健康事業・介護予防事業の取組やシルバー人材センターによる高齢者就労マッチングなど、高齢者の個別ニーズに応える体制と、広い受け皿としての地域活動やボランティア等、網羅的な取組が行われている。

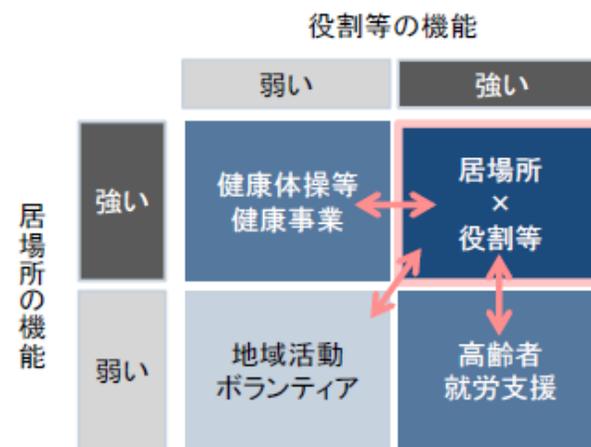
一方で、運営主体の規模感や実施範囲に限られる等の理由から、個別に取り組まれることが主流であり、双方機能を両立するようなサービスはあまり見られず、限定的。ここに新たなサービスを提供することで、より網羅性が増すことに加え、既存の取組みとの連携(スムーズな移行・相互作用等)が得られるものと想定。

現状の仮説



- それぞれ取組は存在し、大部分の高齢者ニーズはカバーしていると思われるが、双方機能を持った取組は現状あまり存在していない。(一部のコレクティブハウス等が近い事例との想定)
- 地域単位で取り組まれることが主であり、取組が居場所・役割等のどちらかに個別特化する形となる傾向。

あるべき姿(イメージ)



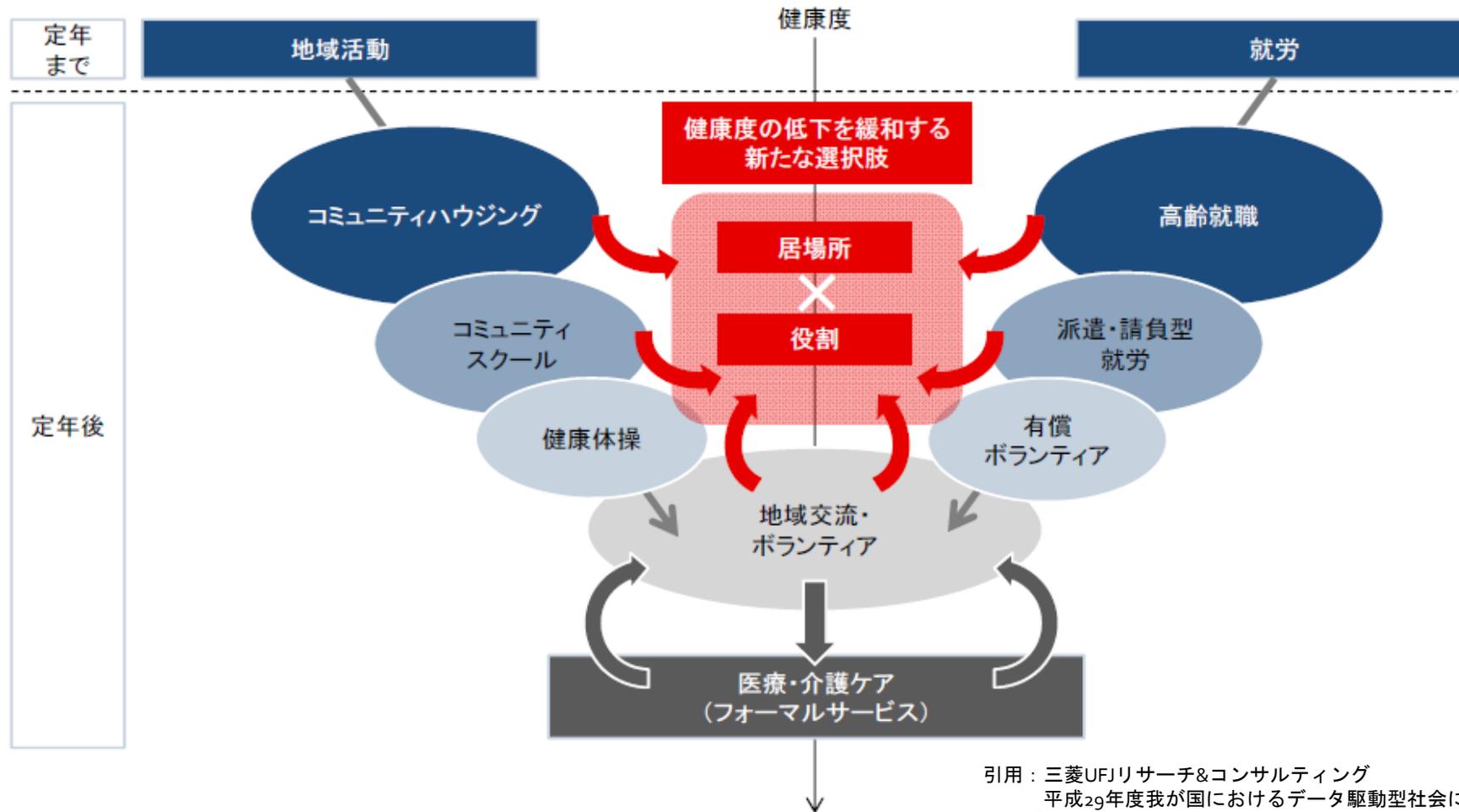
- 例えば、「居場所」と「役割等」のどちらの機能も備える取組を創出できれば、新たなニーズの獲得だけでなく、双方の更なる需要の掘り起こし等、既存取組への作用が得られるのではないか。

引用：三菱UFJリサーチ&コンサルティング  
平成29年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備  
「社会参加等による認知症・要介護状態の予防・進行抑制に関する調査」調査報告書

### 3. 事業パターン・モデル案の検討

#### 3. 現状の代表的な提供サービスと新たに提供しうる選択肢

企業等の組織での就労を経た方と就労ではなくボランティアなどの地域活動に携わってきた方では、そもそものニーズが異なるため、定年後にそれぞれがやりがいを求める先は異なると思料。これまでは、健康度の低下に合わせて選択肢が取られてきたが、例えばこの両者間に中間的な選択肢を加えることで、より多様な高齢者ニーズを拾いつつ、健康度の落ち込みの緩和につなげられるのではないか。



引用：三菱UFJリサーチ&コンサルティング  
平成29年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備  
「社会参加等による認知症・要介護状態の予防・進行抑制に関する調査」調査報告書

# 多様な人が集まる居場所づくり

- ・ 認知症であることが特別ではない「居場所」づくり。
- ・ 自然な交流の中から生まれる仲間づくり。
- ・ 「認知症の人」ではなく「その人」個人との関係を。
- ・ 認知症の人に限らず、障がいのある方や何らかの困難を抱える方にも。
- ・ 誰もが、「自分らしく生きる」ことを実現して欲しい。

# 「居場所」としての取り組み



# sitteプロジェクト

---

「居場所」づくりの取組の1つとして

# 「sitteプロジェクト」のコンセプト

「sitte」を通じて

より豊かな

“人” “社会” “人生のあり方”

を「知って」ほしい。

- ・ 前向きに頑張ろうとしている高齢者がいること
- ・ 笑顔で人生を楽しんでいること
- ・ 介護サービスを利用するからといって、何もできなくなったわけではないこと
- ・ 認知症であっても、できる環境を整えれば、やれることが沢山あること
- ・ 利用者も誰かの役に立ちたいと考えていること

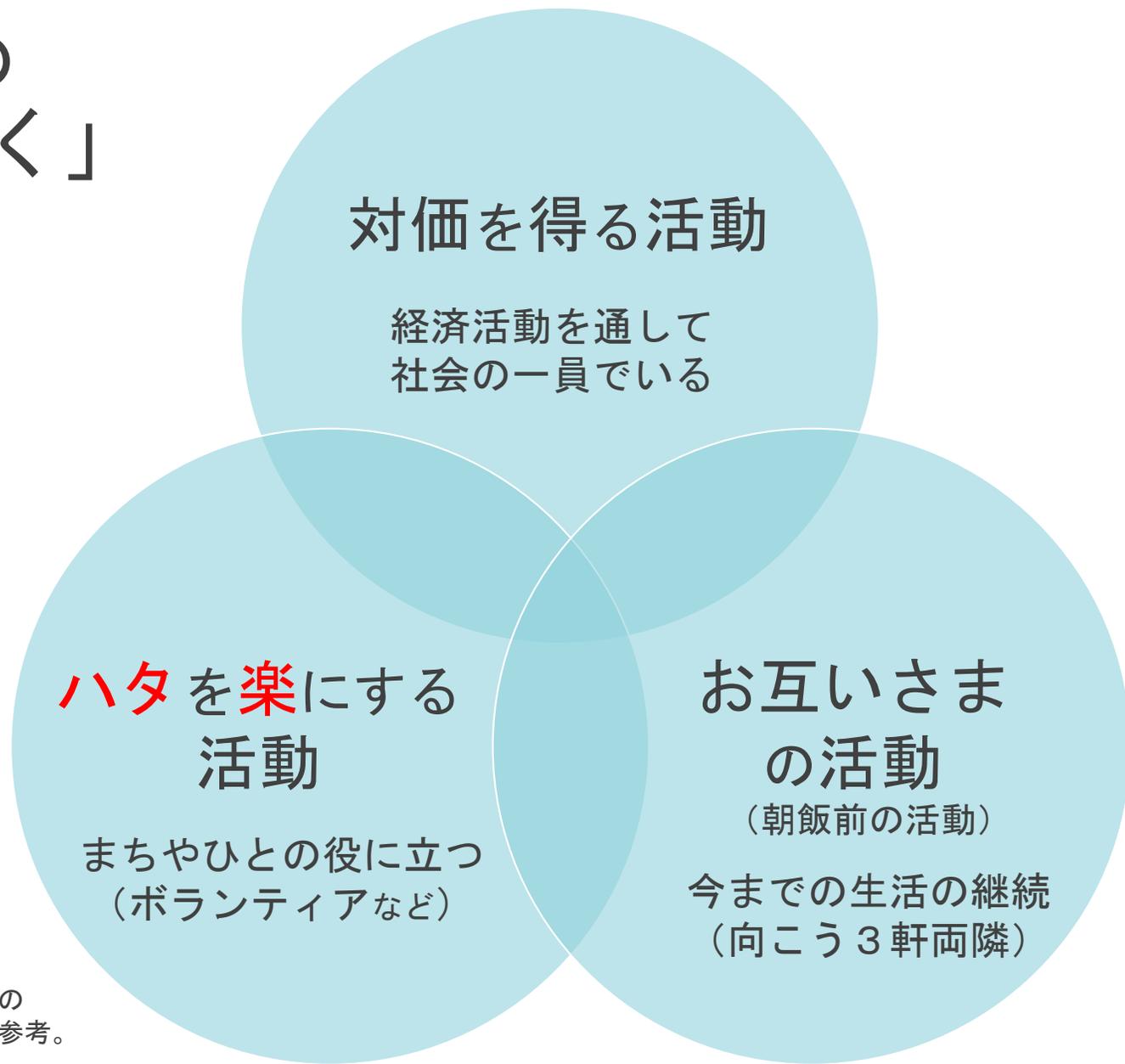
# 『はたらく』に着目したのは？

自立支援の取組において、施設内では限界を感じていた。

しかし、利用者が「はたらく（誰かの役にたつ）」体験はしており、効果があることは感じていた。

そこで、地域や地域にある企業と一緒に「はたらく」ことをテーマに取り組むことにより、施設がよりよい「居場所」に繋がるのではないかと考えるようになった。

# 西院の 「はたらく」 定義



江戸時代の  
はたらき方を参考。



社会とつながり続けるための取組  
「社会参加活動」

# 「sitteプロジェクト」の取り組み

**sitte**

オリジナルブランド  
「まな板」などの作成

絵馬の作成

洋裁・手芸品の  
作成・販売  
手作り市など

RUN伴  
Tシャツ発送業務

お惣菜の  
調理・販売  
手作り市など

こども食堂の  
調理準備

etc

# 『sitte』の取り組み

---

ブランドの立ち上げ



## 「sitte」ブランド

企業と共同して、市場でも通用する商品を作ることにこだわった。

ブランドを立ち上げることで、

- ・ 社会参加活動を、より意味ある作業にする。
- ・ 社会の一員であることを、実感しやすくする。
- ・ コンセプトを明確にする。
- ・ 世間に対する発信力を上げる（介護のイメージチェンジ）
- ・ 職員のモチベーションアップ。

# コラボ企業 1

コンセプト・素材選び・デザインを共同  
販売 など

## “いきるをつくる” mumokuteki

京都市内の繁華街にある  
ショップ&カフェ





# コラボ企業 2

プロモーションで協力。

# Agelle

ヒト、モノ、企業と未来の  
ミリヨクをアゲル



エーゲル社長  
伊豆田 千加さん

いずた・ちか 写真専門学校を卒業し、テレビ番組の制作会社に。その後、松竹京都映画撮影所の録音部で整音などを担当した。2005年エーゲル設立、09年に株式会社化。大阪芸術大非常勤講師も務める。趣味はアウトドアで、高校1年と小学5年の息子2人らとキャンプを楽しむ。京都市西京区在住。41歳。エーゲルは右京区太秦多藪町43の15。☎075(882)6906。



## 「sitte」 活動内容

活動日時： 毎週月曜日 10:45～11:45、14:00～15:00

場所： 京都市西院老人デイサービスセンター

利用者： 6人（スタート時） ➡ 現在、12人

スタッフ： 1～2人（ボランティアさんも協力）

活動内容： 出勤簿 ⇒ 準備 ⇒ 挨拶 ⇒ 活動 ⇒ 片付け

仕事内容： まな板・カッティングボードを磨く。

蜜蝋を塗る。



# 活動風景



おそろいの  
エプロン。

活動前には  
出勤簿をつける。







# まな板 カッティング





# ドリア皿

mumokuteki café  
で食べれます。



季節野菜のドリア  
¥1,200

カシューナッツと白みそをベースに作ったベシャメルソースを使い、ごろっと野菜の入ったドリアです。ハーブ入りのパン粉がこんがり焼けて食欲をそそります。

ミートソースドリア  
¥1,200

特製トマトソースにおからこんにやくと数種類の野菜を混ぜたミートソースのようなドリアです。野菜の旨味たっぷりの深い味わいとなっています。

# 初めての謝礼は ■ ■

販売しているお店のカフェで、  
みんなでケーキを食べに。  
初めてのパンケーキ。





# 謝礼は金券



## 京都で一番長い商店街 三条会商店街

大正3年 発足  
東西800m  
約180店舗

商店街とコラボ。

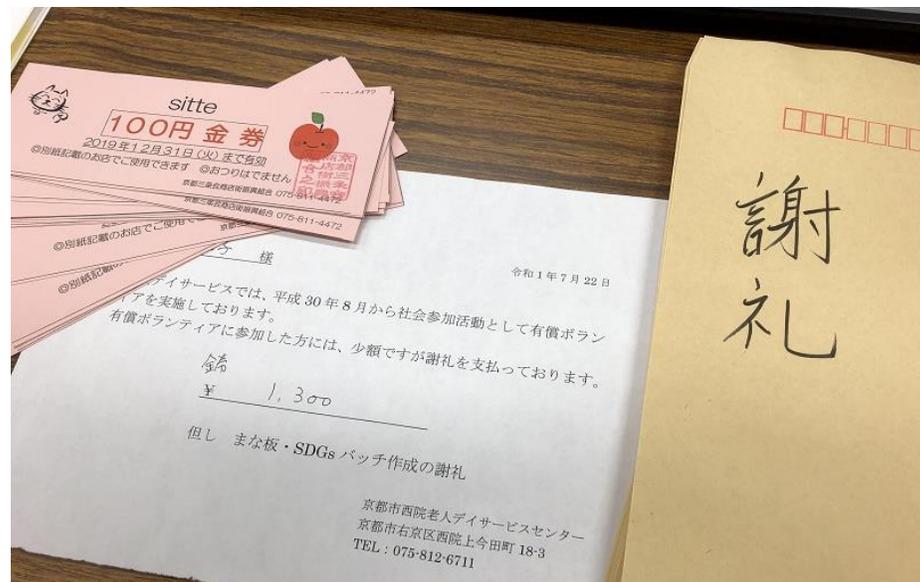
商店街で利用できる  
金券を、謝礼として  
支払う。



「10分モンブラン」で有名



# 給料日？



# 商店街でお買物



# 今後の「sitte」

- mumokuteki 大阪 進出  
新店舗での販売、グラタン皿 第2弾！
- 産官学連携 芸大とのコラボ！？新たな商品開発を検討中
- 絶賛、コラボ企業を開拓中！
- 行政への売り込みも・・・  
ふるさと返戻品や行政の取組の景品にどうですか～

最初から順風満帆ではなかった

# 厚生労働省通知

- ・ 介護保険サービスの中で労働や対価得る活動をする事は認められていない。
- ・ しかし、社会参加活動の取組として、有償ボランティアの活動は認められている。
- ・ 2018年7月に厚生労働省より通知があったことで、活動が活発化した。

各都道府県介護保険担当課（室）  
各市町村介護保険担当課（室）  
各介護保険関係団体 御中  
← 厚生労働省 老健局 総務課認知症施策推進室、  
振興課、老人保健課

## 介護保険最新情報

今回の内容

若年性認知症の方を中心とした介護サービス事業所における地域での社会参加活動の実施について

計5枚（本紙を除く）

Vol.669

平成30年7月27日

厚生労働省老健局

総務課認知症施策推進室、

振興課、老人保健課

【 貴関係諸団体に速やかに送信いただきますよう  
よろしくお願いたします。 】

連絡先 TEL : 03-5253-1111(内線3975、3869)  
FAX : 03-3503-2740

諦めずに行動し続けることが  
*MOTTO*

---

# 諦めずに行動し続けることが*motto*

- ・ 誰のためにあきらめないのか？
- ・ 今までの暮らしを継続すること。
- ・ 制度の枠に捉われないこと。
- ・ 必要なことはアクションしていくこと。



制度となり、普遍化していく

# 「はたらく」活動をやって見えたこと

- ・ 「仲間」の大切さ  
チームへの帰属意識の重要性
- ・ 仕事を担うことだけではない満足感  
チーム内での役割
- ・ 「社会性」を継続する  
今までの生活の継続
- ・ 様々な人との出会い

# この取組みの広がりにより さらに居場所を求めて

Aさん

50代 女性

若年性認知症

夫の思い

「妻の居場所がほしい・・・」

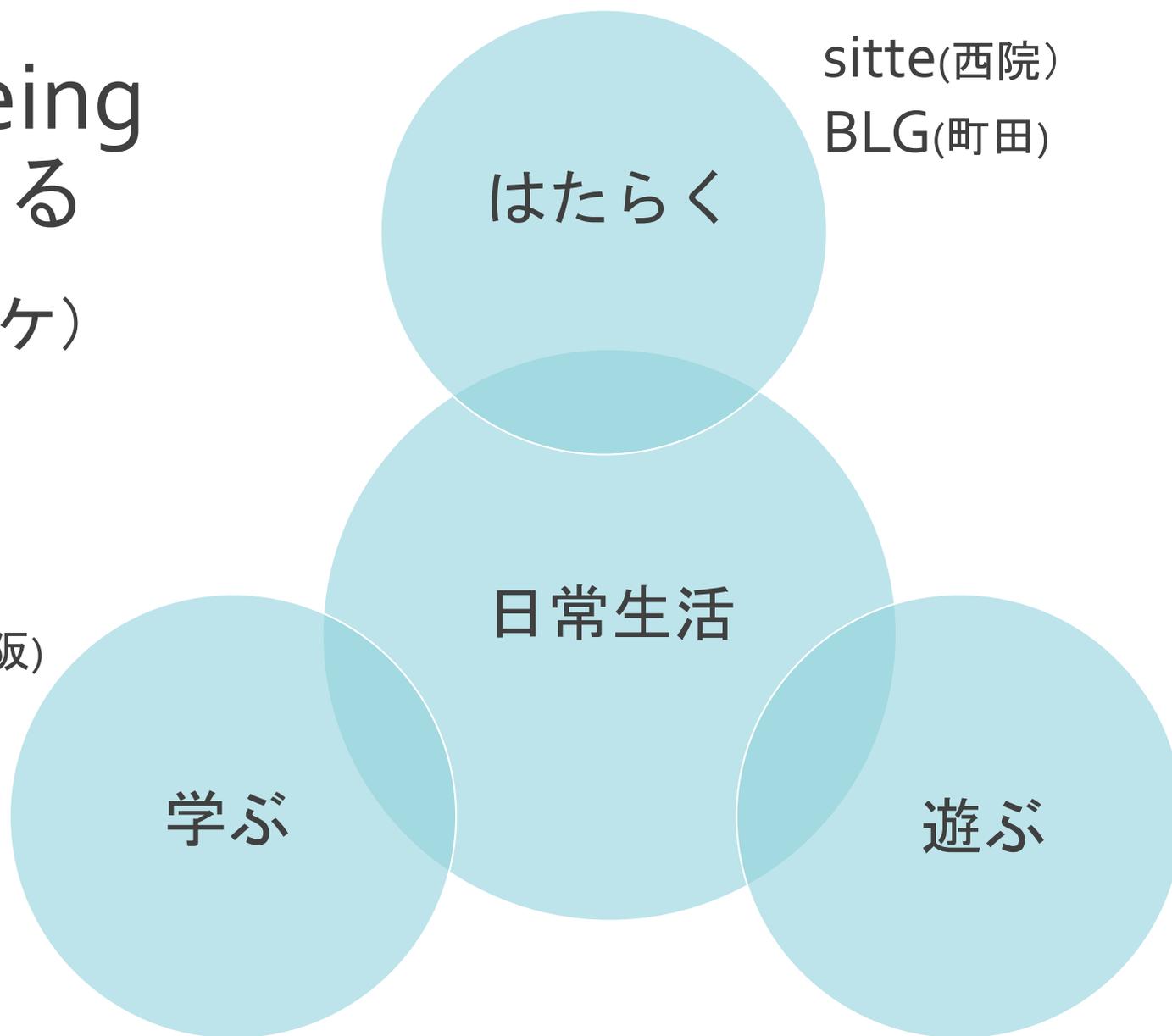


私たちがこれから  
していくこと

---

# Well-being を考える (ハレとケ)

図書館PJ(川崎)  
哲学カフェ(大阪)



無料

# “認知症にやさしい” 異業種連携シンポジウム

対象 **企業の経営層・社員** **医療・介護・福祉関係者** **自治体職員** **一般の方**

2025年には、高齢者の5人に1人が認知症を発症すると見込まれています。超高齢化社会の先頭を走る日本においては、高齢者、認知症の人に身近なサービスを提供する企業も、認知症になっても安心して暮らし続けられる社会(“認知症にやさしい”社会)構築の一端を担っています。京都において異業種連携により“認知症にやさしい”サービスの検討を始めた企業が現在の活動を語ります。みなさんも“認知症にやさしい”異業種連携について考えてみませんか。

2019年 **7月6日(土)** 10:00~12:00

会場 **京都学・歴史館 大ホール** 定員 **400人**  
京都市左京区下鴨半木町1-29 [裏面に地図]

## 第1部 トークセッション

### 人生100年時代を生き抜くための サービス開発への期待

株式会社マネーフォワード取締役執行役員  
Fintech研究所長 **瀧 俊雄氏**



慶應義塾大学経済学部を卒業後、野村證券入社。野村資本市場研究所にて、家計行動、年金制度、金融機関ビジネスモデル等の研究業務に従事。  
スタンフォード大学経営大学院、野村ホールディングスの企画部門を経て、2012年よりマネーフォワードの設立に参画



京都府立医科大学大学院医学研究科  
精神機能病態学教授 **成本 迅氏**



京都府立医科大学卒業。  
2001年京都府立医科大学大学院修了。  
日本精神神経学会・日本老年精神医学学会専門医・指導医。日本生物学的精神医学学会・日本神経精神医学学会・日本老年精神医学学会 各評議員。日本老年行動科学会 理事。一般社団法人日本意思決定支援推進機構 理事。専門領域は老年精神医学

## 第2部 パネルディスカッション

※“認知症にやさしい”異業種連携協議会において結成した異業種混合チームが登壇します。

### 異業種連携による “認知症にやさしい”サービスの 検討と実践

京都において異業種連携により“認知症にやさしい”サービスの検討を始めた企業が現在の活動や今後の抱負を語ります。

- ・“認知症にやさしい”異業種連携協議会参画企業
- ・瀧 俊雄 氏
- ・成本 迅 氏
- ・松本 恵生 氏 (京都市若倉地域包括支援センター)

【“認知症にやさしい”異業種連携協議会 参画企業】

情報通信	ソフトバンク株式会社
運輸	株式会社キャビック/都タクシー株式会社
小売	京都生活協働組合/株式会社セブン-イレブン・ジャパン/ 株式会社ハートフレンド(スーパーフレスコ)/ゆう薬局グループ 株式会社ゆうホールディングス
金融・保険	株式会社京都銀行 / 三井住友信託銀行株式会社 / 京都信用金庫 / 京都中央信用金庫 / 東京海上日動火災保険株式会社 / 第一生命ホールディングス株式会社 (第一生命保険株式会社、 第一フロンティア生命保険株式会社)
不動産	株式会社エルハウジング/株式会社フラットエージェンシー
医療・福祉	株式会社ベネッセシニアサポート/ソケンメディカル株式会社
警備	総合警備保障株式会社

認知症になっても個人が尊重され、安心して暮らし続けられる社会実現のため、高齢者、認知症の人に身近なサービスを提供する企業が異業種連携により「認知症にやさしい」サービスを検討し、実践することを目的として2019年6月に設立。

京都府、京都府立医科大学等が参画し、産学官連携により取組を推進。

ソフトバンク株式会社  
株式会社キャビック  
京都生活協働組合  
株式会社セブンイレブンジャパン  
ゆう薬局グループ  
株式会社京都銀行  
京都信用金庫  
第一生命ホールディングス  
株式会社エルハウジング  
株式会社ベネッセシニアサポート  
総合警備保障株式会社 (ALSOK)

# 認知症フレンドリー社会を 作っていくためには

- ・ 企業などの異業種との連携が必要。
- ・ 認知症の人が「はたらく」活動に留まらず、認知症の人が地域で今までの生活を継続していくために必要な社会の仕組みや商品開発などが求められている。
- ・ 認知症の人の意思や思いなどを伝える、認知症の人と一緒に取組、認知症の人の声を聞いてもらうという役割をもつ。
- ・ 認知症の人と参画している企業が出会う機会をつくることを提案。
- ・ 当事者の言葉を直接聞く機会をつくる。

# 行き着く先は『まちづくり』

- ・福祉の課題を解決することが、まちの課題を解決することに。
- ・双方向からの課題解決を目指した先に、まちづくりが完成する!?

認知症を“自分ごと”として受け入れられる社会

# 私たちが目指すゴール

## 認知症フレンドリー社会

認知症であってもそうでなくても、  
誰もが安心して地域で暮らし続けることができるまち

このような「まちづくり」をすることで、  
「社会が変容」していくことを目指しています。